

# 宮古体育学習会通信

世話人 山内（宮古小）

2015. 2. 19

N o 16

## 第16回 宮古体育学習会の報告

### 1年間の体育授業の実践交流と年間指導計画

#### 【参加者】

山内弘文・藤田沙織・菊池恵子（宮古小） 箱石和真・高橋彩乃（船越小） 山本恵吾（田老第一）  
神崇尋（磯鶏小） 久保一真（崎山小） 竹内勇（鉾ヶ崎小） 小野甚市（宮古教育事務所） 以上 10名

今回は今年度最後の学習会でした。座学は初めてだったのですが、今年度の実践でうまくいった点やうまくいかなかった点、困っている点など交流する中で、解決策を考えることができました。

#### 1. うまくいったこと

- 場づくり・補助・ルールの工夫
  - ・跳び箱の数が少ないので、ステージ等を使い、ローテーションでグループでまわる。
  - ・台上前転
  - ・サッカー（ボールを足の裏でとめたら、ディフェンスはとれない。男女の仲間意識の向上）
- プレルボールの実践
  - ・休み時間にもやるなど、運動の日常化につながった
  - ・校内の先生への教材提供
- 準備運動・業間運動の工夫
  - ・学校のオリジナル体操を開発し、全校で取り組む  
（宮小エクササイズ・鉾小キッズエクササイズ・崎小トレーニング等）
  - ・考える鬼ごっこ（制限時間内に全員タッチできたら鬼側の勝ち or 1人でも逃げ切ったら鬼側の負け）
- 学校全体の取組
  - ・なわとびカードを活用した取組
- 低学年から基礎感覚づくり
  - ・動きがしなやかになった ・補助も比較的やりやすい時期

#### 2. うまくいかなかったこと・困ったこと

- バスケットボールなどのゲームの授業でファールなどをめぐってトラブルがおきる。
  - ・ふだんスポ少などにやっている子や比較的クラスで動ける子のルールへのこだわり
  - ・体育授業では、正式なスポーツを教えるのではなく、あくまでも教材。児童の実態に応じながら、その教材でどんな力を身に付けさせたいのか明確にして進めるもの。ルールなども簡易化して進めればいいのか。
  - ・ルールについて、最初にみんなで話し合い、黒板上に位置づける。
  - ・学習を進めながらその場でストップして確認。みんなでルールを作る。書き加える。
  - ・困ったことがあったらジャンケン。
  - ・セルフジャッジで進める。
  - ・勝ち負けにこだわりながらも、ゲームを通して、仲間づくりができるような手立てが必要
- マット運動等の指導法
  - ・モデルは、教師だけでなく、できる子を見取り、その子にやってもらう。
  - ・教師は、だめな例を示し、子どもに考えさせる。
  - ・学習カードの活用
  - ・補助法を学び、子どももできるように。（運動について「わかる」）

### ○鉄棒運動についてどのように取り組めばいいのか。

- ・子どもが取り組みやすい時期に行う。(学校行事との関連)
- ・他の運動領域と組み合わせて行う。(帯単元にして、長い期間取り組む)
- ・休み時間、「3回〇〇をしたら、自由遊びだよ」という課題を与える。
- ・体育授業で学習したことを、休み時間と結び付けたい。
- ・施設があれば、体育館での授業もある。

### ○単元の見通しの甘さ

- ・単元のゴールをどうするのか明確にして取り組む。
- ・児童の実態に合わせて、変更することも大切

### ○校庭のライン引き

- ・スポ少との関係で自由にひけない。(指導者間での話合いが必要)
- ・担任一人だけでは大変
- ・担任外の協力
- ・校庭のラインが共有できるような学年間の単元配列を工夫する。
- ・始業式には、校庭にラインが引かれている。(運動したくなるような環境づくり)

## 3. 年間指導計画について

- ・組みあわせ単元で行う
- ・学年間の系統性を意識したい。(ぶつ切り感がある)
- ・対外行事と関連させた単元配列(無理のない取組・意欲づけをしゴールのイベント化)
- ・2年で弾力的に指導できることを生かした配列。  
(例) ネット型は5年で15時間、ベースボール型は6年で15時間

## 4. 体育学習会に対する感想・意見

- ・来年度もぜひ来たい。
- ・月1回の学習会が楽しみです。刺激になります。
- ・体育学習会で学んだことを生かして、子どもたちが楽しめる授業ができた。
- ・座学もいいなと思いました。
- ・普段考えていてもなかなか話せないことを相談したり、新たな教材を教えていただく場になっている。
- ・自分自身、体育はあまり得意ではないが、実際に体験することで子どもが苦手だと感じる点や指導上のポイントを押さえることができた。
- ・宮古の体育に関心のある先生方と交流することができたことが収穫でした。

### ○やってみたい内容

- ・水泳(息継ぎの指導の仕方)
- ・ハードル
- ・走高跳
- ・鉄棒
- ・跳び箱運動(恐怖心を取り除くにはどうすればいいか)  
(できないことが恥ずかしいと思っている子にどう教えたらいいのか)
- ・インドアスノーバトル



・体育授業の充実は、学級経営の充実そのものと感じます。小野指導主事からも、宮古地区の体力向上についても上昇しているという話でした。体育が得意な方だけでなく、たくさんの先生方に広げていければと思っています。2年目の活動もありがとうございました。